

PROFILE KATO

VOL.8

書家

大久保葵香 さん
おおくほ きこう



作品を書く際は、丁寧に一字ずつ書くというよりも、全体を通して書の流れを表現できるように、墨の潤濁・筆の弾力や緩急・紙面に対する白と黒のコントラストを意識しています。

まだまだ自分の未熟さを感じるばかりですが、これからも実作に生かせるよう、古典の臨書を大事にし、書の奥深さを学び続けたいと思います。

平成30年に開催された、日本最大の美術展覧会、改組新第5回“日展”において初入選。さらに令和4年に開かれた第9回でも再び入選した。このほか、県展や日本書芸院展、玄心会展、読売書法展にも作品を出展している。

38年前に師範の資格を取得。以来、自身の作品づくりのほか、書道教室も開いており、小・中学生などを指導している。

昭和34年7月6日生まれ64歳(本名：三代子)。趣味はお菓子作りや編み物。子どもが幼い頃にはケーキを作ったり、ベストなどを編んだりしたことも。